



**公立後期選抜の出願が始まりました。五中の皆さんの書類は、3 学年職員が分担して、出願してきましたよ！！**

**さあ、ここから、ここから。例年、ここで一気に伸びる人がたくさんいます。もうひとがんばりですよ。**

## 入試直前アドバイス

志望校合格にむけて

前日まで 心と体を万全の態勢にする

### ①朝型の生活と計画的な勉強を

- ・生活のリズムを朝型に変えていこう。特に夜型の勉強になれている人は受験の 2～3 日前にあわてて生活リズムを変えるのは非常に難しいです。今から徐々に変えていこう。学習面では、最終チェックを怠りなくしっかりやり、自分にあった計画的な勉強を進め、志望校合格に必要な学力を身につけよう。

### ②風邪は受験生の大敵

- ・受験は「体力勝負」風邪を引けば体力はもとより、思考力も半減し、実力発揮は難しくなります。外出の時はマスクをし、外から帰ったら必ず手洗いとうがいをお願いします。人混みはさけることが一番です。

### ③栄養を十分にとり、夜食は控えめに

- ・「腹が減っては戦はできぬ」特に朝食は大切で、栄養をしっかりとらないと脳の働きは鈍くなります。頭の回転をよくする働きをもつ「ブドウ糖」のもととなる糖質を多く含むお米やパンは朝食に食べるようにしよう。  
夜食の食べ過ぎは体調や生活のリズムを崩すもとになります。どうしても食べたいときは消化の良いものを食べましょう。

### ④持ち物は、家に帰ったらすぐやる。

- ・受験に必要なものは、家に帰ったらすぐにやりましょう。夜になって足りないものに気がついても店が閉まっている事があります。余裕を持って準備することで落ち着いた受験になります。

### ⑤交通経路を再確認

- ・受検会場がどんなに近くても、会場までの経路はしっかり確認しておきましょう。時間に余裕を持って出かけられるように所要時間を確認します。

### ⑥寝不足に注意。いつもと変わらないリズムで

- ・寝不足で問題に向かっても、実力発揮は難しいでしょう。当日を万全の体調で迎えるためにも、いつもと同じ生活のリズムで十分に睡眠をとっておきましょう。眠れないからといって起きずに布団に入って横になって身体を休めておきましょう。

### ⑦前日の勉強は軽めのチェックを

- ・本番前日は「あの公式どうだっけ。あのできごとの起きた年号は・・・」などと、いろいろな事が気になるものですが、勉強のしすぎは逆効果。前日の勉強は軽めのチェックにとどめておこう。

当日は 落ち着いて答案を書こう

### ①はじめに全体を確認し、できる問題から解く

- ・いきなり問題を解き始めないこと。全問題を見渡し、すぐ解ける問題、少し考えれ

ばできる問題、難しい問題の3種類に分類します。すぐ解ける問題から取りかかり、解答用紙が徐々に埋まっていくことで気持ちが落ち着いてきます。

## ②検査終了前の5分間は見直しを

・入試本番は普段より緊張し、いつもなら絶対しないようなミスをしてしまいがちです。そんなミスを防ぐため、終了5分前になったら、考え中の問題があっても見直しを優先しましょう。見直しのポイントは、

- (1) 答え方は設問の指示に合っているか？  
(記号で書く、漢字で書く、10文字以内で書くなど)
- (2) 単位は正確か？
- (3) 句読点、コンマ、ピリオドなどの書き忘れはないか？

## ③解答用紙を確実に埋めていく

・自信がなくても、書いた答えが当たっていれば得点になります。何も書かなければ得点になりません。空欄をつくらずに、思いついた答えを積極的に書き込みましょう。

- (1) 選択問題は、まったくわからなくてもどれかを選んで書く。
- (2) 記述問題は、解答欄の中央に濃く大きく読みやすい字で記入する。  
たとえ解答に自信がなくても、消さずに残しておけば、見直しの時に正答がひらめくことがある。
- (3) 論述問題は配点が高めなので、空欄にしないで自分の考えを書く。  
必要な要素が含まれていれば、部分点がもらえる可能性もある。

## 入試直前の必勝勉強法！！

### ①基礎基本を総整理して、応用できるまで高める

・各教科とも基本事項が頭の中に定着して自由に活用できれば、入試問題で解けない問題はありません。大切なことは、それらの知識をきちんと整理して、いつでも取り出して応用できるところまで高めておくことです。5教科の中1から範囲を通して総整理してみましよう。ノートに単元ごとの重要項目を整理しながら、忘れていたり、疑問に思うことをすぐに調べると良いです。

### ②過去問で「出題傾向」を知る

・基本項目が確認できたら、どれだけ入試で発揮できるかを確認しよう。そのためには「過去問」を解いてみるのが最適です。その際「制限時間を守る」ことが第一の注意点。たとえば数学は大問4問の出題なので、見直しの時間も考えれば1問当たりにかかることのできる時間は10～10分ですね。問1の計算問題を10分で正確に解けるかやってみよう。また、間違えた問題は3回は解き直そう。過去問を解くことで入試のパターンを知り、より効果的な対策を練ることができます。自信を持てるまで復習をしよう。

### ③頻出事項を最終確認する

・過去の入試問題に接することで、毎年の問題の傾向が理解、把握できます。各教科の頻出事項・単元を徹底的に覚えることが、これからの時期の総仕上げになります。これだけで各教科とも7割は確保できるはず！！

### ④「早寝・早起き・朝ご飯」で生活のリズムを作る

・人間の頭がフル回転するのは、目覚めてから2～3時間後と言われています。入試のスタートが9時からだとすると、6時に起床しなければ、ベストな状態で試験に取り組む事ができません。今日から（休日も）朝6時には起床。そして朝ご飯をしっかり食べる！！

国語・・・同音異義語をしっかりチェック

論述は自分の考えをまとめる練習を

数学・・・根拠を明確にして記述する練習を

基礎的計算問題は速く正確に

社会・・・資料を確実に読み取る力と理由や背景を考える習慣を

理科・・・実験や観察の問題は必ず出題される

理由や方法を理解し書く練習を

英語・・・自分の考えを英語で書く練習を

長文読解はまずあらすじを読み取る

**努力は裏切らない！！ファイト！！**